

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|---|--|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | - | - |
| | | スーパー（経営者） | ・冷夏による7、8月の食品を中心とした不振の状況は、秋以降に通常の天候に戻り、例年とおりの秋になれば、多少消費は戻る。 ・冷夏の影響で懸念されるのは、青果物を中心とした高値推移であり、これが消費にどう影響するか心配ではある。しかし、いつもの秋の天候になれば、少しは回復する。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・冷夏のため、ファッション商品、衣料品が大不振で、夏物は良くなかった。しかし予測を立て、夏物の品揃えを薄く、切り上げを早くしたため、品揃えの移行がスムーズになっている。今後の秋、冬は品揃えがうまくいっているため、良くなる。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・7月は、礼服などの夏物衣料が不振を極めた。しかし、このまま気温が秋を感じるような状態であれば、秋の出足は例年よりも好調に推移すると思われる。現状で秋物のスーツやコートが動き出しており、2～3か月先はある程度の数字が見込める。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | ・9月初めに5年ぶりに軽自動車が発売となる。先行受注が現在順調で、発売後はさらに伸びる。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | ・競合他社も低価格状況である中、商品の質を高め、新たな客層の取り込みを始めている。 |
| | | スナック（経営者） | ・8月の数字を見ると、ここ10年のワースト3ぐらいであり、これ以上悪くならないであろうという逆算である。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | ・当社では、一部リニューアルを行い、客への訴求力が強まるため、良くなるが、景気全体としてはやや右肩下がりである。 |
| | 遊園地（経営者） | ・宮城県北部の連続地震からの回復や米の作況の立ち直り、株価の上昇で消費マインドが戻れば、秋の行楽や芋煮会などで集客が見込まれる。 | |
| | 変わらない | 一般小売店〔雑貨〕（企画担当） | ・個人所得環境が良くない。社会保険料、消費税率などといったもので、将来に対し個人は大変不安に思っており、そうした中消費が盛り上がることは有り得ない。 |
| | | 百貨店（広報担当） | ・全体的には、堅実な消費が続くと思うが、株価の回復や自助努力によるプラス要因の部分と、米の不作と総選挙などのマイナス要因も加わり、予断を許さない状況であり、景況としては大きくは変わらないと見ている。 |
| | | 百貨店（売場担当） | ・欲しいものは買うが、それを買った分、他のものを控えるという傾向はまだ続く。全体の購買意欲などに変化はない。 |
| | | 百貨店（販促担当） | ・株価の上昇などで、個人消費に若干の明るさはあるものの、冷夏の影響で、米の作柄状況に期待が持てず心配である。 |
| | | スーパー（経営者） | ・当市にも、来月下旬から24時間営業のスーパーが出現する。コンビニに加え、スーパーの長時間営業時代がやってきて、当店のようなスーパーにどうした影響が出るのか分からないが、2～3か月後には変わらない。 |
| スーパー（店長） | | ・取引先の倒産があったり、農家が米を購入しなければならぬほどの不作が予想されるなど、好材料はまったくといっていいほど無い。 | |
| スーパー（総務担当） | ・当社が出店しているエリアは青森、秋田、山形県であるが、この天候不順による農産県への打撃は大きい。米をはじめとする農作物の収入減は、客の購買意欲を削ぐ。また農産物が高騰し、食品に関する節約が出てくる。 | | |
| コンビニ（エリア担当） | ・良くなると思うか、或いは悪くなると思うかというよりも、この良くない状況が変わらず続くと考えて、どうすべきかの戦略を立てるべきと考えている。日常的な物販をしているが、そうした部分において良くなるといった材料が見当たらないというのが現実である。反面、これ以上悪くなるというような状況でもない。 | | |
| コンビニ（エリア担当） | ・現在が悪い理由は、単純に冷夏の影響である。コンビニエンスストアの主力である、おにぎりやお弁当、パンなどは昨年より売れている。 | | |
| 衣料品専門店（店長） | ・更なる単価のアップが計画されているが、客数減はある程度カバーするものの、大きく状況を変える要素にはならないと見ている。 | | |

| | |
|------------------------|---|
| 衣料品専門店（店長） | ・冷夏が、幸いして秋物が早く立ち上がり、総体的売上高の確保が図られたが、9月以降もこの状況が続くとは思えない。 |
| 家電量販店（店長） | ・家電業界では、各種新製品、特に地上波デジタル対応のテレビなどが出てくるため、商品的に購買動機に結び付きやすい環境になるが、冷夏の影響が商業従事者にまで出ており、結果的にはあまり変わらない状態になる。 |
| 乗用車販売店（経営者） | ・我々は、冬が来る前に1台でも多く販売するため、新型車の投入や、1.9%や0.9%などの低金利対策で追い込みをかけるつもりであるが、北朝鮮問題や選挙などの社会的問題が、上がりがかけている景気に水を差さないよう祈っている。 |
| 乗用車販売店（経営者） | ・ボーナス支給月にも関わらず、商談期間が非常に長引いている。薄利の取引が多いのが現在である。 |
| 乗用車販売店（従業員） | ・金を少しでもかけずに、家計を温存するという傾向が続いているため、景気が良くなるということはない。 |
| その他専門店〔家電〕（経営者） | ・良くなると思っていた夏物商品が低迷し、今頃になって残暑が続く、このまま残暑が続けば、秋商戦が鈍くなり、今後の景気の動きは変わらずに悪いままである。 |
| その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） | ・農家の収穫が減少し、購買力も低下する。また建築土木関係でも公共事業が減少しており、軽油を中心とした燃料油の販売が厳しくなり、良くて現状維持と思われる。 |
| スナック（経営者） | ・今月は、もう少し売上が落ち込むと思っていたが、意外とそうでもなく、先月と比べて大きく落ち込むことは無かった。景気が悪いからお盆でも出歩かなかったことが要因だと考え、その意味から2～3か月も変わらないと思う。 |
| 観光型ホテル（経営者） | ・地震の際の多数のキャンセルがほとんど復活していない。特に東京以西は期待できない。 ・天候不順にも関わらず、屋内プール利用者が少ない。 ・今月は芸者の働きが殆ど無い。早く地震の安全宣言が欲しい。 |
| 住宅販売会社（従業員） | ・公庫の金利が9月から上昇するが、公庫を利用していない関係で、受注に影響は出ない。 ・9月は決算期であり、通常は受注が増えるものの、10～11月に落ち込むため、消しあって大勢に影響は無い。 |
| やや悪くなる | |
| 商店街（代表者） | ・冷夏の影響が、これから出てくる。東北の場合、米の不作が深刻で、田舎に行けばいくほど重みが増してくる。米の不作によって金が回らなくなる。 |
| 百貨店（企画担当） | ・冷夏により、米の作況指数が83の著しい不良という結果が出ている。第一次産業が大きな要素を占める地域であり、米の現金収入が減るということは、この地域の景気に与える影響は大きい。これは平成5年の大凶作の時の経験からいえることである。 |
| スーパー（経営者） | ・冷夏の影響で、これから野菜や果物の作柄が悪くなる。特に当県の米の作柄が心配である。 |
| スーパー（店長） | ・冷夏の影響による、米の作況指数の悪化により、農家の収入減が予測される。農業従事者の多い地域での消費への影響が懸念される。 |
| スーパー（店長） | ・24時間営業によって、今現在は、売上などが好調に推移し、経費に関しても整合性が取れてきている状況であるが、来月には競合店が5km圏内に2店舗出店するため、24時間営業でプラスになった分が消えてしまう。 |
| スーパー（企画担当） | ・夏の商戦が不完全燃焼で終わり、一度落ちてしまった消費は今後大きく伸びることは考えられない。 ・競合店の出店、消費税額の総額表示の問題など厳しい。 |
| スーパー（企画担当） | ・これから2～3か月先の10～11月は、秋の収穫時期であり、特に米作農家の減収が見込まれるため、やや悪くなる。 |
| 乗用車販売店（経営者） | ・10月以降は、新型車の発売がないため販売の伸び悩みが予想される上に、農業県である当県では、記録的な冷夏の影響で、果実や米の不作で、消費の妨げとなることが予想される。 |
| 住関連専門店（経営者） | ・冷夏により、農作物に多大な被害が発生する見込みで、収入が少なくなる。一次産業従事者を得意先としている当社では、先行き不安である。 |
| その他専門店〔酒〕（経営者） | ・酒類販売業界では、酒類販売の規制緩和が9月1日から予定されており、これによる競争激化が見込まれ、先行きは厳しくなる。 |

| | | | |
|----------------|--------|-----------------------|---|
| | | その他飲食〔そば〕 (経営者) | ・冷害の影響が、これからの消費に著しく出てくる。客の財布のひもはますますきつくなり、売上の前年割れが続く。商売替えや閉店を考えている同業者の声をよく聞くようになった。 |
| | | 都市型ホテル(経営者) | ・経費の削減などで飲食費を減らす企業や団体が増えている。毎年恒常的に宴会を行っていたところも、総会や式典のみで終わらせたり、全てを取りやめるところも増えている。 ・婚礼も減少しており、売上の減少分を、東北大会などの受注で補っている現状で、今後の受注の見通しは暗い。 |
| | | 都市型ホテル(経営者) | ・ライバル店の進出で、総体的な客足の減少が懸念される。新しい施設への興味やチェーン店の強みなどで、2~3か月後は厳しい。 |
| | | 美容室(経営者) | ・年末に向け、倒産件数の増加が見込まれる。冬の賞与も期待できず、保険料の上昇など、家計を圧迫しており、財布のひもは当然固くなる。従って、客の消費行動はもっともっと慎重になる。 |
| | | 住宅販売会社(経営者) | ・今年は冷夏で、雨も続いており、それに加え地震の影響もあるため、展示場来場者も減少している。しかし反面地震の被災者が家を建て替えるという動きもある。しかしこの動きはマイナスに作用するため、やや悪くなる。 |
| | 悪くなる | スーパー(経営者) | ・デフレ傾向と共に、冷夏と長雨の影響により、一層深刻な事態となり、特に農産物の不作はこの状態に拍車をかける。 |
| | | 観光型旅館(経営者) | ・県内の米の不作と、地震の被害で、上得意が多く住むエリアでは、温泉やレジャーどころではなくなっている。 ・天候不順で、秋の紅葉の染まりも期待できず、忘年会や新年会の動きもない。今年は客の動きが期待できない。 |
| 企業 動向 関連 | 良くなる | | |
| | やや良くなる | 電気機械器具製造業 (総務担当) | ・冷夏の影響が懸念される一方で、年末商戦向けも含めた民生機器やパソコン用、携帯電話用の電子部品が増加傾向にある。 |
| | | 輸送業(従業員) | ・中国との輸出入がSARS問題から回復し、更にクリスマス商品に向けての部材の動きが活発化しており、上向きになる。 |
| | 変わらない | 電気機械器具製造業 (経営者) | ・下期に向け、各取引先からの引き合いがぼちぼち出てきている。具体的には新札対応の特需、または年末対応の機器の受注が見込まれるが、依然としてコストダウン要求が厳しく、今後どう展開するか分からない状況である。 |
| | やや悪くなる | 出版・印刷・同関連産業 (経理担当) | ・この夏の天候不順の影響はこれから出てくる。農産物の不作により、地方の消費が一段と冷え込むことを懸念している。 |
| | | 一般機械器具製造業 (経理担当) | ・自動車の国内販売の一部に陰りが出てきていることが懸念される。 ・民生機器関係で、一部メーカーの在庫調整の影響を受ける。 ・為替が円高に推移すれば、輸出環境が悪化し、利益面に影響が出る。 |
| | | 建設業(経営者) | ・主たる建設業の売上と利益は、ここ4~5年横ばいで推移しているが、その内容は人件費の削減と経費の縮減による販売管理費の減少によるところが多く、業界のパイの拡大は見込めず、先行きは暗い。 |
| | | 金融業(営業担当) | ・新規の住宅ローンが低迷しており、消費マインドは回復していない。それに加え、今後は農産物などで冷夏の影響が出てくるため、先行きは厳しい。 |
| | | 新聞販売店〔広告〕 (店主) | ・夏の収入の減少が、今後の消費活動に影を落とし、他の産業にも波及していくものと思われる。しかし、チラシを抑えていた2社の業者が地域限定で部数が少ないながらも前向きの取り組みを始めているのが救いである。 |
| | 悪くなる | 農林水産業(従業者) | ・この辺の農家は、桃の生産で一年の生活を支えているが、今までになくとても悪いため、自分の生活だけで精一杯で、次の生産資材購入ができない。 |
| 雇用 関連 | 良くなる | - | - |
| | やや良くなる | 人材派遣会社(経営者) | ・製造業が、活況を呈しており、今後は個人消費に回ってくるのではないかとと思われる。 |
| | | 人材派遣会社(社員) | ・今年10月以降に、アウトソーシングの提案などを進めている案件などもあり、新規採用も予定しているが、2~3か月先は新規採用などにかなり注力しなければ追いつかない状況になる。 |

| | | |
|--------|----------------|---|
| | 人材派遣会社（社員） | ・取引企業数が前年に比べ15%強増えており、派遣利用企業が増えている。 |
| 変わらない | 職業安定所（職員） | ・求人は増加傾向で推移しているが、有効求人倍率が昨年7月から12か月連続して全国最下位になっている。 |
| | 職業安定所（職員） | ・事業所訪問では、依然として企業の雇用マインドは低く、本格的な回復とはいえない。 |
| | 職業安定所（職員） | ・求人数は増加しているが、8月に2けたの企業整備があり、新規求職者の増加が懸念される。 |
| | 職業安定所（職員） | ・求人が増え、求職者が減るという傾向で推移はしているが、実際には労働者がサービス残業など我慢して働いているというのが実態で、求人内容の条件面の低下、正社員の募集割合の減少などである。 |
| やや悪くなる | アウトソーシング企業（社員） | ・主な取引先である市町村では、平成17年に向けてのカウントダウンが始まっている。営業回りをしても、新しいものには手を出さず、今あるものをどうやって削るかが関心事になっている。 |
| | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・求人動向としては、正社員、アルバイト共に増減の目立った動きは無い。しかし秋にかけて天候不順による消費意欲の減退に伴う販売不振などでアルバイト採用の抑制が起こると危惧している。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・米どころである当県は、長雨や地震の影響などで不作が懸念される。その影響が流通などにも出て、波及するため、景気は悪くなる。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・県内の総生産額に占める農業生産の比率は5%であるが、冷夏による心理的な萎縮で、やや悪くなる。 |
| | 職業安定所（職員） | ・販売不振や受注減少による、リストラや倒産のため、20人前後の人員整理を行う企業が跡を絶たず、選考開始を間近に控えた高卒者の就職戦線も、求人数が増えず最悪ペースを更新している。 |
| 悪くなる | - | - |